

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	さくらんぼ					公表日	令和8年2月24日	
	チェック項目	はい	要改善	いいえ	わからない	未回答	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1			曜日によっては増やす必要があるかと思えます。	・国の定める人員基準は満たしております。お子様の状況に合わせて3～5人は配置するようにしております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9				バリアフリーになっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9				毎日消毒と清掃を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	2			個別の部屋はないが、クールダウンのために部屋を移動したり空間を分けている。 常に、一人だけになれる場所ではないが、別室に移動する環境はある。 クールダウンできる部屋はない。	・クールダウンなど個別対応の出来る部屋がない事は課題です。しかし、すぐにリフォームが出来る状況ではないので、今ある環境を活用して、日々対応しております。部屋の隅やカーテンの中、暗く狭い所、布など児童自身も考えて対応している様子が見受けられます。ご家庭に近い状況なので、助言がしやすくなってもいます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8			1		・PDCAサイクルについて再度、説明をしました。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9				評価表の結果を全員で話し合い、改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9				職員会議などで話し合っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1		7	1	行われていない。外部評価は行っていない。 第三者評価は実施していない。	・第三者評価は受けておりません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9				事業所内研修が各月で行われている。	・隔月で、必須研修、支援向上のための研修も行っています。今年度は職員の方からの希望で、「記録の書き方」を実施しました。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9					

	チェック項目	は い	要 改 善	い い え	わ か ら な い	未 回 答	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
適切な 支援の 提供	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			1		ガイドラインに添って行っていると思うが良くわからない。	・年に一回、年度初めにガイドライン研修と合わせ、個別支援計画書の理解に関する主旨の話もしております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1			1	製作、リズム遊びは担当の非常勤も常勤と共に立案している。 チームでは無いがやっていると思っている。 リズム遊びや制作などは係りで相談して考えている。 デイリーは常勤が子どもに合わせて作成している。 制作、リズムは担当を中心にプログラムを考えられている。 常勤の方が行っていて、製作やリズム遊びは担当がアイデアを出している。	・立案は、常勤が行っていますが、直接支援をするにあたり、児童の発達状況、グループ状況を鑑みたくらうで、グループ毎に職員がプログラム内容の展開、進行を考え、対応する力がついてきているので、直接支援をするまでと考えると全職員で行えていると思います。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9						特に、管理者が新しい活動プログラムを考えており、児童が楽しく参加でき、力を伸ばしていけるよう工夫している。 新しい活動が多く、子ども達が楽しんで参加していた。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	1					支援としては、個別、集団の組み合わせを行っている。 計画書の表記の仕方改善。	・計画書への表記を求められている訳ではなく、個別と集団を組み合わせで作成できているか？であり、出来ているので、計画書の表記変更はしません。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1					時間の無い中で完全ではないがやっていると思う。 朝のミーティングでデイリーの確認や子どもの様子を共有している。不明点があれば電話で確認している。 送迎の兼ね合いで必ずは難しいが最大限に行っている。	・限られた人員、時間の中で工夫して行えていると思います。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	2					職員全員が揃ってのうちあわせは体制上無理だが、各自必要に応じ報告や相談をし、常勤に共有している。 打ち合わせではないが、気づいた点等は個々に聞いたり、話したりしている。 業務日誌に共有事項は記入している。以前は行っていたが時間を作ることが難しい。 ミーティングファイルへの記入。 ミーティングファイルへ記入して共有したり、個別で振り返りを行って共有している。 個別に常勤に伝える。 送迎、勤務時間の兼ね合いで必ずは難しい。 ミーティングファイルでの共有を行っている。	・営業後の打合せは出来ていません。しかし、そこを補う為に、連絡帳の記載内容、支援報告、添乗員は細かい情報も常勤に報告し、常勤は内容を精査し、支援改善、情報提供など紙面で記録に残しており、日誌に閉じて、職員が共有できるように対応しています。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9						記録の書き方の研修が今年度あり、より伝わりやすい記録になるように心がけている。	
23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9								
保護 者 と 関 係 機 関 の 連 携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		1			基本、児発管が参加、担当の多い職員の同席がベストだが、時間帯等課題あり。	・開催はほとんどありませんでした。今年度行われた会議への参加人選は妥当でした。	
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			3		主治医や医療機関との連携が必要な児童はいない。		

チェック項目		はい	要改善	いいえ	わからない	未回答	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
関係機関 や保護者との 連携	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1		1		移行に向けた支援が行われているかは分からないが、保育園などと情報共有はしている。	・保育園、幼稚園の併行利用は多い状況でした。さくらんぼの利用を減らし、幼稚園や保育園の通園を増やした、さくらんぼの利用を終了し、就学前療育へステップアップする事になるなど、さくらんぼでの療育を経て、ステップアップ支援を行ってまいります。園との協力と理解があつての状況ではありますが、連携して、成長を見守っています。
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1	1	4		保護者を通して行われていると思う。学校側に積極的に事業所として情報共有の機会は作っていない。保護者様経由で伝えてもらう、計画書、評価を渡してもらっている。	・さくらんぼとしては、相談、見学の受け入れ体制はあり、計画書も関係機関に開示して良い旨を保護者へ伝えております。学校側としてどこまで必要とされているのかがわからない為、受け身である状況です。横浜市特別支援教育総合センターと保護者、各関係機関の連携が取れていないように感じます。特総センターで取りまとめてもらえると思うと保護者の方は相談しやすくなると思います。
	28 (28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	1			1	7		
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1			1	7	助言を受けているかはわからないが外部研修は受け	
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1			1	7		
	31 (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	1		2		情報共有している。 情報共有、現状を知るための連絡を取ることがある。	・今年度は対象となる児童がいなかった。必要に応じて連携を図り、助言を求めるようにしています。
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	4			つくしんぼ園と公園で会うことがある。交流のニーズはない。 公園で挨拶程度 公園で会う程度で交流まではできていないと思う。 望まれていない保護者もいる。 個人情報の兼ね合いもあり交流を前利用者は難しいのでは。	・保護者の方からは求められていない為、活動する機会は設けておりません。出来る範囲の中で対応しています。
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9					連絡帳の保護者様からの記載事項をミーティングファイルで共有している。	
34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		4	1		プログラムではなく、日常的に相談を受け付け助言を行っている。 情報共有は行っている。 プログラム、研修どちらも実施できていない。	・研修の機会は設けられていません。 ・他で開催される情報があれば、アプリで発信しています。 ・メンタルケアの企画を立案しましたが、保護者からの申し込みはありませんでした。	
保護者への説明等	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9						
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9						
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	1					
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9					定期的ではないが、都度、相談、助言はやっていると思う。 定期的に面談を行っている。 連絡帳などで相談や助言を常動がしている。	

		チェック項目	は い え	要 改 善	い い え	わ か ら な い	未 回 答	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	2				きょうだい同士で交流する機会は設けていない。保護者の会はないが、交流する機会は作っていると思う。 茶話会が行われた。きょうだいの交流機会は無い。 きょうだい同士の交流機会は行われていない。	・ニーズがあれば、開催を検討しますが、要望を頂いた事はありません。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9						
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9					定期的に発行されている。 アプリを活用している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9					研修が行われている。配布物などは読み上げたり、Wチェックしている。	
非常時等の対応	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	1				絵カードや予定ボードを見通しがつきやすいように活用している。	・外国籍の保護者や子どもと言葉の壁があります。絵カード、英語単語での対応、保護者へは翻訳アプリ、ゆっくりわかる単語を使って対応していますが、伝わっていないと思う事は多いです。書類を外国語に翻訳するにも一苦労です。評価表など共通書類は、外国語版を作成してほしいです。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	3			「はびねず」の作品展示を今年度も地域ケアプラザや地域のカフェでもさせて頂いた。 はびねずで地域の方にも子どもの作品を見てもらう機会があった。 はびねずや法人内のイベントに参加している。 はびねず作品の展示を近隣のカフェで行った。行事への招待はしていない。	・通所している保護者の中では、通っている事を知られたくないと思っている方もいらっしゃるもので、児童滞在中の解放は出来ないと考えています。 ・事業所の認知という意味では、スペースの提供や広報誌にて、事業所紹介を掲載が考えられます。 ・広報活動が出来ていません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1					
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9						
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	1					・契約時に母子手帳、アセスメント聴き取りにて、情報収集は行っております。また、初回～随時、確認は行っております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1		1		保護者からの聞き取りのもとで行われている。	・指示書のコピーをもらい、記載に従い対応する事としています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			1		支援に必要な「危険予測」研修は行われており、それに基づき安全に配慮された中で支援を行っている。 安全計画の作成とは？安全を意識した上での支援は行っているつもり。	・実施すべき研修、訓練は実施しています。毎月の職員会議の中で、リスク管理の練習の為に、テーマを決めて発表する機会を設けています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		1		災害用伝言板（web171）を活用している。	・安全計画は、回覧、保護者へは配布しています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9						
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9							
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9							